

放射線科研修

◇ 研修目標および特徴

画像診断：画像の解析学にとどまらず、その対象である個々の患者を把握し、主治医に対し検査、治療に関する適切なアドバイスをすることが出来る。

研修では、さらに CT、MR、透視撮影および簡単な特殊検査の習熟を目標とする。

放射線治療：悪性新生物に対する集学的治療の一本の柱としての役割を認識できる。

◇ 研修内容

- 1) バリウムスタディ：管腔臓器の特徴を生かした検査法を理解し実践する。
- 2) 経静脈性腎盂造影：水溶性ヨード造影剤による経静脈造影検査の基礎を理解し実践する。
- 3) CT：CT 解剖を知り疾患に応じた検査法を学ぶ。
- 4) MR：画像構成の基礎と検査の特質を学ぶ。
- 5) RI：アイソトープの特殊性を知り、各種検査法を学ぶ。
- 6) 血管造影検査：セルディンガー法の手技と IVR の基礎を学ぶ。
- 7) 放射線治療：放射線治療の基礎と適応疾患を学ぶ。
- 8) 放射線防護：医療被曝の位置づけを知り。患者の不安に答えられる知識を得る。
- 9) 症例検討会：個々の患者の検査適応や治療選択の考え方を学ぶ。

◇ 指導スタッフ(卒業年度、認定医、指導医)

前田宗宏	(S59 卒)	日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本 IVR 学会 専門医
上田 賢	(H18 卒)	日本医学放射線学会 放射線診断専門医
川口善史	(H14 卒)	日本医学放射線学会 放射線治療専門医 放射線腫瘍学会 認定医

◇ 診療実績(年間)、診療設備(2018 年度)

MR(1.5T)装置 2 台	8,397 件
MDCT 装置 2 台	27,166 件
血管造影装置 1 台 血管造影	154 件
ガンマカメラ 2 台	728 件

X線テレビ4台	胃透視、注腸	1,241件
リニアック1台		330件
腔内照射装置1台		18件
位置決め専用CT1台、放射線治療計画装置1台		

◇ **専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況**

日本医学放射線学会 放射線科専門医総合修練機関（全部門） 認定番号 総-133
 日本 IVR 学会 専門医修練施設 認定番号 309 号
 日本核医学学会 専門医教育病院 認定番号 0370 号
 日本医学放射線学会・放射線診断専門医 3 名
 日本医学放射線学会・放射線治療専門医 1 名
 放射線腫瘍学会 認定医 1 名
 臨床研修指導医 4 名